

今回の22号では、地震の時に各世帯の被害を最小にするために「転倒・落下・移動」をチェックリストにまとめました。ご自宅の現状を確認頂き改善頂くことを目的に発行致します。

今回のテーマは地震被害調査で、負傷者の3~5割と最大の負傷者数を占める「家具類の転倒・落下・移動による負傷防止対策」に焦点を当てて、チェックリストを作成しました。ご活用をお願いします。

2014年11月15日(土) 横浜市戸塚消防署 小泉予防課長の講演骨子

タイトル: 高層住宅の地震・災害対策について

1. 過去の地震災害から学ぶ

- | | |
|---------------------------|------------------|
| ① 関東大震災(大正12年9月1日11時58分) | 被害をもたらした最大要因: 火災 |
| ② 阪神淡路大震災(平成7年1月17日5時46分) | 被害をもたらした最大要因: 倒壊 |
| ③ 東日本大震災(平成23年3月11日) | 被害をもたらした最大要因: 津波 |

2. 家庭・地域の地震対策

① 災害対策の基本は減災

まずは[自助]: 自分や家族の身は自らの手で守る

つぎは[共助]: 地域で助け合い地域を守る

最後は[公助]: 区役所、消防署、警察署など

② 地震時の措置3原則

まずは「その場にあった身の安全」

つぎは「すばやく火の始末」

最後は「となり近所の助け合い」

③ 地震と家具

阪神淡路大震災では、死亡原因の約83%が建物や家具の倒壊による圧死・窒息死でした。

家具の転倒防止対策が必要



3. 地震と火災

- ① 地震で最も恐ろしいのは火災! コンロやストーブの火を消す
チャンスは3度ある

まずは「大きな揺れが来る前の小さな揺れるとき」

つぎは「大きな揺れが収まったとき」

最後は「出火してしまっても、炎が天井に届くまでの出火後1~2分間は初期消火のタイミングです。そのタイミングを逃したら、すぐに避難しましょう。

- ② 避難するときはブレーカーを必ず落としましょう。



4. 高層住宅と地震(高層住宅で考慮すること)

- | | | |
|------------|------------------------|-------------|
| ① 長周期振動 | ② 電気・ガス・水道等のライフラインの停止 | ③ エレベーターの停止 |
| ④ トイレの使用不能 | ⑤ 高層難民の発生等を考慮しておきましょう。 | |

家庭内の転倒・落下・移動防止チェックリスト

| チェック項目が実施されていますか？ | 自宅の状況 | | 補足（対策内容） |
|---|-------|----|---------------------------------|
| | ○・× | 対策 | |
| 1. テレビを壁又はテレビ台に固定すると共に、テレビ台も固定している。 | | | |
| 2. テレビが転倒・落下・移動しても、人に当たったり、避難の障害にならないところに置いている。 | | | |
| 3. 冷蔵庫をベルトなどで壁と連結している。 | | | |
| 4. 冷蔵庫が移動しても、避難の障害にならないところに置いている。 | | | |
| 5. 冷蔵庫や家具類の上に落下しやすい物を置いていない。 | | | |
| 6. 電子レンジをレンジ台に固定すると共に、レンジ台も固定している。 | | | |
| 7. 窓ガラスの近くに大型の家電製品や家具を置いていない。 | | | |
| 8. 家電製品は取り扱い説明書に従って、転倒・落下・移動防止対策を行っている。 | | | |
| 9. L型金具を使用する場合は、壁の下地材や柱など強度がある部分に固定している。 | | | L型金具を柱等にネジ固定する方法が最も効果が高い。 |
| 10. ポール式を使用する場合は、ストッパー式やマット式と併用している。 | | | |
| 11. ポール式を使用時、天井強度が不足の時は当て板で補強している。 | | | |
| 12. ポール式は、できるだけ奥に取り付けている。 | | | |
| 13. ストッパー式は、家具の端から端まで敷いている。 | | | |
| 14. 石膏ボードに接着されているだけの付け鴨居の場合は、補強したうえで、転倒防止器具を取付けている。 | | | |
| 15. 上下に分かれている家具は、上下を連結している。 | | | |
| 16. ガラスにはフィルムを貼るなど、飛散防止している。 | | | 厚手の手袋、履物の準備必要 |
| 17. 収納物が飛び出さない様に、扉には開放防止器具を付けている。 | | | |
| 18. 収納物が飛び出さない様に、引出しには開放防止器具を付けている。 | | | |
| 19. 重いものは、出来るだけ下に収納している。 | | | |
| 20. 固定に用いる器具は、家具類の重さや形状に応じて選んでいる。 | | | |
| 21. 家具類が転倒しても、避難路をふさがない置き方をしている。 | | | (家の安全スペース例) 自宅・共用廊下、エレベータホール |

☆自宅対応のチェックで（○・×）欄に対策不十分で【×】をつけられた項目のうち、どの対策を急いだ方が良いのか『対策』欄に記入して下さい。

- 0：対策の必要なし
- 1：対策を急ぐ必要がある
- 2：次の段階に対策したい
- 3：対策をしたいが手助けを必要とする



☆ご不明の点は自治会事務所まで（☎851-2596）